

神戸薬科大学「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業



コーディネーター挨拶

神戸薬科大学 大学院薬学研究科主幹 医療薬学研究室
教授 水野成人

神戸薬科大学は、大阪大学を拠点校として平成24年度からスタートした文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」に、大阪薬科大学と共に連携校として参加させていただき、がん専門薬剤師の養成に向けた取組を開始しました。

平成25年度より、大学院薬学研究科薬学専攻博士課程臨床薬学コースの中に新たに「がん専門薬剤師基盤育成コース」を設置しました。そして、がん薬物療法において薬学としての専門性を発揮し、個々のがん患者に有効で安全な薬物投与、緩和ケアなどを提供することができる薬剤師の養成を目指しています。さらに、臨床研究の成果を論文としてまとめる能力を有し、チーム医療の一員として患者だけでなく他の医療従事者をもリードすることができる人材の養成を志向したカリキュラムを作成しています。

神戸薬科大学 がんプロ講演会

本事業では、がん専門薬剤師の養成に向けた取り組みとして、学外から講師を招き、がん医療の現状と問題点についての理解を深めることを目的に、がんプロ講演会を開催しました。

「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」

〈第1回がんプロ講演会〉

日時：平成25年2月9日（土）

13:00～15:10（12:30開場）

会場：神戸薬科大学（10号館4階会議室）



松浦 成昭 先生



上島 悦子 先生

【スケジュール】

13:00～13:10 開会あいさつ 神戸薬科大学 学長 棚橋 孝雄

13:10～14:10 我が国のがんの現状と対策

大阪大学大学院医学系研究科 教授 松浦 成昭 先生

座長 神戸薬科大学 教授 水野 成人

14:10～15:10 がん医療－チームだから出来ること

大阪大学大学院薬学研究科 教授 上島 悦子 先生

座長 神戸薬科大学 教授 沼田千賀子

閉会あいさつ 神戸薬科大学 教授 岩川 精吾

〈第2回がんプロ講演会〉

日時：平成25年5月18日（土）

13：00～14：40（12：30開場）

会場：神戸薬科大学（10号館4階会議室）



【スケジュール】

- 13：00～13：05 開会あいさつ 神戸薬科大学 学長 北河 修治
司会 神戸薬科大学 教授 水野 成人
- 13：05～13：50 わが国アカデミアにおける橋渡し研究と臨床試験の現状
（公財）先端医療振興財団 臨床研究情報センター
副センター長 永井 洋士 先生
- 13：50～14：40 がん臨床試験の流れと支援体制～臨床試験開始から結果公表まで～
（公財）先端医療振興財団 臨床研究情報センター
クリニカルオペレーション部 研究管理グループ
楠 康代 先生
- 閉会あいさつ 神戸薬科大学 副学長 岩川 精吾

〈第3回がんプロ講演会〉

日時：平成25年6月1日（土）

13：00～14：40（12：30開場）

会場：神戸薬科大学（10号館4階会議室）



40

【スケジュール】

- 13：00～13：05 開会あいさつ 神戸薬科大学 学長 北河 修治
司会 神戸薬科大学 教授 沼田千賀子
- 13：05～13：35 臨床研究・試験情報の登録～国内外における登録制度の現状～
（公財）先端医療振興財団 臨床研究情報センター
グローバル開発推進部 国際連携グループ 武内亜希子 先生
- 13：35～14：40 世界共通のデータ標準 CDISC について～臨床試験における適用～
（公財）先端医療振興財団 臨床研究情報センター
eクリニカルソリューション部 城野 隆子 先生
工藤 陽加 先生
- 閉会あいさつ 神戸薬科大学 副学長 岩川 精吾

神戸薬科大学 がんプロ海外招聘教授講演会

日時：平成25年11月18日(月)17:00~18:30

会場：神戸薬科大学(11号館4階 第1演習室)

カナダにおけるがん治療の多専門職種連携教育 -コンピテンシー・フレームワーク-

講師：Prof. Ruby E. Grymonpre (ルビ・グリモンプレ 教授)

University of Manitoba (カナダ マニトバ大学)

がん治療においては、多専門職種間の連携による協働が重要であるといわれていますが、それぞれの職種でカリキュラムや医療に対する視点も違うため、お互いを理解するための学習の機会が必要と考えられます。そこで昨今、症例をもとに多専門職種間で検討するグループ学習も行われるよう



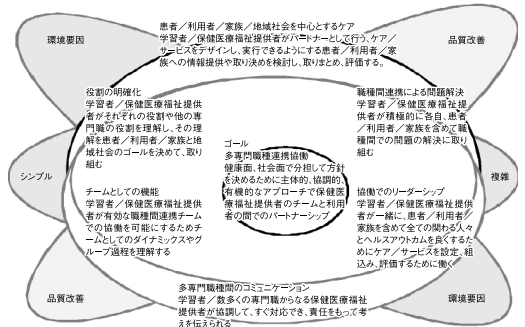
になりましたが、カナダではコンピテンシー※モデルを用いた、患者を中心とした実践のための多専門職種連携教育(IECPCP : interprofessional education for collaborative patient centred practice)を積極的に行っています。この度、マニトバ大学よりルビ・グリモンプレ先生をお迎えして、カナダにおける多専門職種連携コンピテンシー・フレームワークの講義をいただいた後、実際に参加者が6~7名のグループに分かれ、がん症例をもとに「何を学習するのか?」「どのような協働コンピテンシーにするのか?」といったような多専門職種連携学習プランの作成を行いました。作成にはいくつかのステップがあり、そのステップが記入されたシートを討議し満たしていくことで、それぞれの役割が明確になり相互理解が深まります。その結果、多職種間でのコミュニケーションも向上し、患者さんの問題解決にもつながると考えられます。このフレームワークはシートに手順が示されているためシンプルで討議が進めやすく、がんプロにおける学習に非常に有用なツールであると感じました。

※ある職務や役割において優秀な成果を発揮する行動特性

カナダにおけるがん治療の多専門職種連携教育コンピテンシー・フレームワーク:クイック・リファレンス・ガイド

C I H Cカナダにおけるがん治療の多専門職種連携教育コンピテンシー・フレームワークは、効果的な多専門職種連携で必要とされるコンピテンシーを表すものです。6つのコンピテンシー・ドメインは多専門職種連携協働で必須となる判定を形にするための知識、技能、態度、評価を明らかにします。これらドメインとしては●役割の明確化●協働でのリーダーシップ●チームとしての機能●多専門職種間コミュニケーション●患者/利用者/家族/地域社会を中心としたケア●多専門職種間連携による問題解決 があります。

図はコンピテンシー・フレームワークが異なる状況でもどのように使うかについて、3つの背景条件をハイライトで示しています。



エクステンション事業との連携

医療の高度化と社会情勢の変化に伴って、薬剤師の業務は、医療チームの中での薬の専門家としての活動へと今後ますますシフトしていくものと考えられます。

学部教育では、科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力を有すると共に、医療人にふさわしい高い使命感、倫理観を備え、社会で活躍する人材を輩出できるカリキュラムを編成しています。これに加えて、日進月歩の医療分野で働く薬剤師は、時代に即応した医療レベルに継続的に応えていく必要があります。本学のエクステンションセンターは、このような社会的要請に応えるために、種々の事業を展開しています。

エクステンション事業は卒業生だけのものではありません。学部学生の中から、本事業を通じて現場の薬剤師と交わることは、将来の薬剤師像を描く良い機会になると思います。

【エクステンションセンターでの主な研修講座】

◇卒後研修講座 ◇リカレントセミナー ◇健康食品講座 ◇実践塾

本学の研修制度は多岐にわたりますが、上記4つの事業を主な柱として毎回テーマを変えて行っています。

中でも「卒後研修講座」は全国屈指の伝統・実績と規模を誇り、最新の医学・薬学情報を総合的かつ体系的に修得できるように編成した、学術的色彩の濃いユニークな研修講座です。毎回メインテーマを設定し、総論・各論として6コマを構成し、これに薬剤師職能に関係する、最近のトピックス（3コマ）が加えられています（全9コマ）。

講師陣は全国的視野に立って選定され、斯界の第一線で活躍されている研究者や臨床家による専門的講義は受講者から毎回極めて好評で、高い評価を得ています。なお、この内容は全講義が終了後に改めて3コマが精選され、東京でも「卒後研修関東地区講座」として開催しています（9月の1日間）。

特に今年度実施した卒後研修講座は “文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」事業” を共催として「がん治療最前線」をテーマに実施しました。

3日間で延べ2,115名が参加しました。

神戸薬科大学第39回卒後研修講座

「がん治療最前線」

日 時 平成25年 5月25日(土)、26日(日)、6月2日(日)、いずれも10:00～15:30
会 場 神戸薬科大学 ききょう記念ホール、他
定 額 10,000円(テキスト代を含む) テキストのみ2,500円
定 員 1日3単位(神戸薬科大学エクステンションセンター認定)

<p>5月25日(土)</p> <p>10:00～11:30 肺癌内科治療の パラダイムシフト</p> <p>大阪府立成人病センター 呼吸器内科 主任医員 今村 文生 先生</p>	<p>12:20～13:50 抗がん剤のTDM実例 ストレキザート、 分子標的薬</p> <p>筑波大学附属病院薬剤部 薬剤師 鈴木 福治 先生</p>	<p>14:05～15:35 知ってください! 肝臓がんの薬物治療</p> <p>株式会社 丸 国立がん研究センター中央病院 肝臓科 科長 奥坂 拓志 先生</p>
<p>5月26日(日)</p> <p>乳がん治療の 最新情報</p> <p>神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科 教授 岡 博信 先生</p>	<p>新しい放射線治療 — 粒子線治療 —</p> <p>兵庫医科大学粒子線治療センター 院長 本坂 信昭 先生</p>	<p>外来化学療法における チーム医療: 薬剤師の役割</p> <p>聖マリアンナ医科大学 薬学部長 藤原 孝 先生</p>
<p>6月2日(日)</p> <p>婦人科癌 (子宮がん・卵巣がん)の 治療最前線</p> <p>兵庫県立がんセンター 婦人科部長 山口 聡 先生</p>	<p>iPS細胞を用いた パーキンソン病の 細胞移植治療</p> <p>京都大学iPS細胞研究所 細胞応用研究部 特任准教授 野村 貴裕 先生</p>	<p>革新的な進歩もみせる 血液がんの治療: 分子標的療法と 同種造血細胞移植療法</p> <p>大阪府立成人病センター 血液・化学療法科 主任医員 石川 淳 先生</p>

主 催：神戸薬科大学エクステンションセンター
共 催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」事業
協 賛：公益社団法人 日本薬学会

お問い合わせ先 神戸薬科大学エクステンションセンター
〒658-8503 神戸市東灘区本山北町4丁目18番1号
Tel. 078-4417527 E-mail: ext@obepharma-u.ac.jp